



関川村

第96号

平成26年8月1日発行

議会だより

関川中学校社会奉仕活動



6月定例議会 “ 関川村誕生60周年記念事業 ”	2 ページ
一般質問 2 名登壇	4 ページ
第 2 回臨時会 “ 高校生等の通学定期券購入費補助 ”	6 ページ
太陽光発電事業実施	7 ページ
村民の声 「 行政相談について 」	8 ページ

記念事業費などへ

総額 44億7,980万円

6,180万円追加

総務費

平成26年度第3回定例議会が6月12日～19日の8日間で行われました。
初日は、2名の議員が一般質問に登壇、その後、管理公社の経営状況の報告、条例の改正議案2件、補正予算議案についての質疑を行いました。
最終日には、請願2件が採択され、財産取得の追加議案を含む全議案が可決されました。

関川村誕生60周年記念事業費

昭和29年8月1日に関谷村と女川村が合併し、今年で60周年を迎えます。記念式典等に計上された予算は、左記のとおりです。

講演委託料

200万円

植樹業務委託料

12万円

花火打ち上げ料

160万円



新エネルギー推進事業 測量委託料

800万円

旧美穂農場跡地の分筆の測量経費で、地上権を設定するための費用です。



コミュニティ助成事業 補助金

250万円

今回は下関コミュニティが対象です。みつば公園や就業改善センターで使うテント、エアコン、テレビ、長机等を購入する予定です。

請願

「手話言語法」に関する請願

紹介議員 平田ゆかり

手話が日本語と同様な言語である事。日常生活、職場、教育の場で手話を使つた情報の提供やコミュニケーションが保証され、社会に自由に参加できることを目指す。

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担額2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願

紹介議員 渡辺 健作

財産の取得

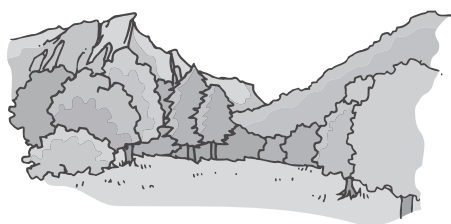
除雪ドーザー(13t級)

1652万円

相手側 坂町重機工業
代表社員 山田泰三

民生費

農林水産業費



教育費

条例改正

●国民健康保険税条例の

改正後は、高所得者の後期高齢者支援金等課税額が14万円から16万円に、介護納付金課税額が12万円から14万円に引き上げられます。

**7割軽減
(495人)**

質

問



津野 庄衛
議員

時代に合った農地対策を 課題が山積、気運が高まれば全力で取り組む

議員 羽越大水害

後に整備された基盤整備は、圃場の面積や設備の面で時代に合わなくなってきたと思う。

これからは農業形態も変わり、コスト

削減のためにも圃場の拡大が必要と思う。計画実施には農家の意向調査が優先されることは当然のことだ。

村長の所信を伺う。

村長 村の水田面積は1,260haで、50

R区画は少なく大部分は羽越大水害で改良復旧した水田です。これまでも、国や県の諸制度を活用し区画整備事業を実施した地区は、鍬江沢、幾地の一部、橋場、

宮前、上土沢、大島の一部、上関の玉郷立地区です。今年から女川左岸地区250haを営事業で実施します。しかし、課題もあります。農業従事者の高齢化、後継者がいな

い、農地の貸借では、借り手を探すのが難しい状況です。圃場の整備が必要であることは十分認識していますが、進めるための課題として、関係農家の理解と同意が必要です。

米価の低迷、工事の受益者負担、後継者の問題等で村や土地改良区で説得することは大きな課題です。しかし、機運が高まれば村としてもその実現に取り組みます。

議員 数年後には農業形態も変わると思う。圃場の拡大と整備が必要だ。前向きな推進を。

人口減少対策

雇用の場の確保、医療等の充実に一層努める

議員

日本の人口急減には、人口の社会移動が大きく関わっていると言われている。地方から若者が大都市へ流れる「人の流れ」を変える必要がある。人口流出を防ぐためにも村でも若者住宅の施策等を図っている。

若者が結婚し、子どもを産み、育てやすい環境づくりのための政策が重要課題と考える。

先般、日本創成会議人口減

少問題検討分科会の発表によれば、本村の若年女性減少率(20〜39歳女性)が2010〜2040年まで60.9%、186人、人口は3269人と推定している。つまり、人口が半減するということが、村長の所信を伺う。

村長 日本創成会議人口減少

問題検討分科会の発表では、「2040年人口推計結果」本村は、消滅の可能性の高い523自治体に含まれていま

す。

人口減少問題対策は、「自治体の総合力の問題」であるだけに決め手がありません。当面、次の対策を考えています。

一つは、生活ができるレベルの年収が得られる雇用の場の確保に努め「地方は安い賃金」というイメージを払拭しなければなりません。

次に子育て支援の充実です。これまでの医療給付や教育関係の支援、保育負担の軽減等に努めてきましたが、一層支援を拡大したいと考えています。

そして、村で暮らすことに誇りと自信を持つてもらうため教育の充実。人口減少対策は、総合力と時間、財源の確保に引き続き努めます。

議員

子どもたちが高校へ進学し、村外に出た後も安心して帰って来られるような環境整備が重要だ。

長期的な展望にたった対策に努めて欲しい。

村長

人口減少については国県でも対策を進めています。村では60周年記念を機会に、村民や村から出た人たちにも村の良さ、ふる里の良さをPRしたいと考えています。

般



平田 広 議員

現状に合った保育園体制の見直しが急務

保護者、地域の皆さんと

懇談し対応したい

新設工事中の国道の開通見込みは

国道290号線 上土沢地区は

28年度開通予定

議員 人口の減少や少

子高齢化が年々進んで
いる。特に保育園体制
の見直しが急務と思う

村長の施政方針の中
でも、女川保育園の入
所児童が極めて少なく
なったため、保育園の
在り方等、本格的な検
討が必要とのことであ
った。具体的に動かな
ければならない時期に
きていると思うが次の
点について村長に伺
う。

- ①各保育園の年齢ご
との園児数と保育士
数の資料提示。
- ②統廃合の予定は。
- ③通園費補助金の現
状は。

村長 ①別紙のと
おり、資料を配布※

②村の総合計画に
ありますが、現在3
保育園の中では、
女川保育園

※①別資料

保育園	定員	園児数	職員数
下関	120人	110人	25人
大島	45人	30人	6人
女川	45人	7人	4人

で、来年度は2〜3
人程度を見込んで
おり、特に園児の
減少が著しい。

近年は小学校が1
校になったこと
から、保護者が大
勢の友達と一緒
に育てたいと言
う意向もありま
す。

現在、女川地区
から下関保育園
に通園している
園児は10名程
おり、村として
は来年度の統
合に向けて保
護者や地域の
皆さんに現状
を説明し懇談
を語り、対応
を考え、今
進めようとし
てるところで
す。

③通園費の補助は、
通園バス区域
外の3歳以上の
園児の保護者
に対して、負
担の軽減と運
行区域との
整合性を図る
ことを目的に
、片道2km
以上の園児を
対象に距離
に応じた通
園補助金を
支給してい
ます。

す。25年度では
村内の12人
に対して30
万円余りを
支給してい
ます。

議員 現実的に
園児がこれ
ほど減少し
ている中で
は、統合も
やむを得
ない。統
合により、
浮く経費を
子育て支
援策として
、3歳児未
満も通園
費補助の
対象とし
て拡充を
検討して
欲しい。

本年度の園
児数は7人
で、来年度
は2〜3人
程度を見
込んでお
り、特に
園児の減
少が著し
い。

老人クラブの活性化対策を

代表者と相談し検討したい

議員 高齢者の
増加と逆行
し、老人
クラブの
会員は年
々減少傾
向にある
。各老人
クラブで
は会員募
集に苦慮
している
。そこで
、現状に
ついては
と補助体
系を見直
すなど、
努力して
会員を勧
誘すれば
多少なり
とも補助
金に跳ね
返るよう
な仕組み
・補助金
が必要だ
と思うが
、村長の
考えを伺
う。

村長 現状は
単位老人
クラブが
23

議員 国道290
号線の上土
沢から国
道113号
線までの
道路工事
と国道1
13号線の
鷹ノ巣バ
イパス道
路の現時
点での開
通見込に
ついて村
長に伺
う。

村長 上土沢
から国道
113号線
までの国
道290号
線バイパ
ス工事は
、平成2
8年度開
通を予定
してま
すが、一
部用地の
取得が難
航し

ており、開
通が遅れ
る可能性
も考えら
れます。

国道113号
線の鷹ノ
巣道路は
現在32%
の進捗率
ですが、こ
こも用地
の取得が
完了して
おらず、
用地の取
得が進捗
率は83%
です。本
年度は環
境調査や
用地取得
を引き続
き進め
るともに
、大内
淵・片貝
地区にお
いて改良
工事を行
う予定
で、現時
点での開
通見込み
はたつ
ていま
せん。

また、国では
今年度、金
丸から小
国町間の
本格的な
調査に入
る予定
で、これ
からも促
進に向け
て要望活
動を続け
ます。

議員 早期完成
のスピード
アップと
上土沢地
区の国道
290号線
については
桂地区ま
での次の
ステップ
も引き続
き要望し
て欲しい。

村長 その要
望も始め
ており、
引き続き
要望しま
す。

60歳以上
で加入出
来る年齢
の方であ
つても、
色々な理
由から加
入しない
人、加入
しない地
区もあり
ます。

定額助成
の補助体
系について
は、今後
、代表の
皆さんと
相談し、
検討して
いきます。

第2回 臨時議会

5月20日(火)

高校生等の通学定期券 購入費補助(30%)

定期券購入は下関駅で



新型車両 E120形

過疎地域自立促進計画の一部変更

- ・越後下関駅窓口の有人化を継続します。
- ・学校のICT(情報通信技術)機器を整備します。

補正予算

審議の結果、補正予算を含む全議案は賛成多数にて原案のとおり可決しました。

一般会計(11号)

補正額 1980万円を減額
総 額 46億440万円

国民健康保険事業特別会計(第3号)

補正額 1億2050万円を減額
総 額 7億3230万円

介護保険事業特別会計(第3号)

補正額 1400万円を減額
総 額 9億9740万円

後期高齢者医療特別会計(第2号)

補正額 110万円を減額
総 額 6100万円

財産の取得

多目的集会施設のための取得

所在地

上関一〇七三ー一及び

上関一〇七四ー一

土地面積

1627㎡

建物面積

577.96㎡

取得予定価格

2000万円

契約の相手方

渋谷 鐵男

公共的施設の総合整備計画の変更
(これまでの計画に追加する事業)

・七ヶ谷南部辺地

安角地区林道板橋線を舗装します。

大石ダム湖畔公園の遊具を整備します。

・片貝辺地

小型動力ポンプ積載車を更新します。

太陽光発電事業実施

7月 着工・12月 稼働



村は三峰川^{みぶかわ}電力株式会社（本社東京都千代田区）と「大規模太陽光発電所建設に関する協定書」を6月5日締結しました。

三峰川電力株式会社が事業主となり、発電所の建設を本年7月に着工し、運転を12月に開始する予定です。

調印式では福田知史社長は太陽光発電を機会に、次の段階に挑戦したいと述べました。

同社は大手商社丸紅の100%子会社で、南アルプスを流れる三峰川で水力発電所を建設し、他に北海道にも太陽光発電を行っています。

発電用地は旧美穂農場跡地の一部と旧女川中学校グラウンド、小見集落共有地の3カ所で、年間発電量は一般家庭の約700世帯の年間消費量に相当する約260万キロワット時を見込み、再生可能エネルギーの固定買取制度を利用し、20年間売電します。総事業費は約7億5千万円です。

この事業が「村の活性化」につながることを期待しています。

村民の声

行政相談について

伊藤 敏さん
(下川口)

私は、平成23年4月より総務省の行政相談委員を委託されています。

行政相談は、公正・中立の立場から、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かしています。

委員の大きな業務は、

- (1) 苦情の相談に応じ、申出人に助言し、また、関係機関等に通知すること。
- (2) 行政相談（委員活動）について、啓発・宣伝すること。
- (3) 行政運営の改善意見を総務大臣に述べる。の3つです。

苦情等を受け付ける範囲は、国の行政全般に及んでいます。なお、「地方公共団体の独自の事務」や「民事に関する事案」と思われるようなお困りごとでも、国の制度が関係する場合もありますので、ま

ずはご相談ください。

平成25年度の行政相談の処理件数は16万8,076件で、国の行政機関等の事務に係る苦情や要望陳情は12.3%、制度や窓口の照会等は19.7%、地方公共団体の事務等に係るものは37.0%、民事は31.0%でした。相談事例の中からいくつか紹介します。

相談

国道の歩道と車道との段差を解消してほしい。

結果

委員が国道事務所に改善を要請した結果、段差が解消されました。

相談

公園の樹木が繁茂し、歩道に大きくはみ出している。歩行者が通行しやすくなるように整枝してほしい。

結果

相談を受けた委員が現

地確認後、市役所に改善を申し入れた結果、整枝により通行しやすくなりました。

相談

街灯が点灯していなかったのが、1週間経つても対応されていない。早急に対応してほしい。

結果

委員から市維持管理課に連絡したところ、早急に対応する旨の回答があった。2日後、同課から委員に街灯を交換したとの連絡があった。

行政相談委員制度は、平成23年に創設50周年の節目の年を迎えました。50周年記念標語の特選は、「困ったら一人で悩まず行政相談」です。困ったら、先ずは相談して下さい。

編集後記

■まだ6月だというのに30度を超える真夏日。この日、関川中学校の生徒の皆さんが、村内で清掃活動を行っていた。中学生も公共施設の整備や清掃、福祉施設の訪問、大したもん蛇まつりへの参加などを通して村に貢献している。■関川村は今年60周年を迎えた。平成の大合併に加わらず、自立の道を選び現在に至った。村の生き残り策として村長が述べた「村民の知恵と力をお借りしたい」は記憶に新しい。■夏の終わり、祝60周年の花火が打ち上げられる。中学生の皆さんには、うだるような暑さの中での作業を思い出し、大いに自分を褒めて楽しんでもらいたい。■村民の郷土愛が重なりあって、関川村の歴史が創られてきた。

平田（ゆ）